

SACRIFICE 316

生きたささげ物

「ですから、兄弟たち、神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」ローマ人への手紙 12章1~2節

あなたのささげ物 あなたのからだを「聖なる生きたささげ物」として献げよ、というこの勧めはよく誤解されます。しかし、これは、イエス・キリストの単なる信者以上になるための正しい道を示すとても大切なことばです。1節は、救われたなら神に特別なささげ物をしなさい、と信者一人ひとりに強く求めています。2節は、ささげた後の生活の指針を与えています。ルカの福音書9章23節には、日々自分の十字架を負って神に従いなさい、とあります。しかし、これはローマ人への手紙12章1節の意図ではありません。この聖句の「あなたがたのからだを…ささげなさい」という勧めは、一度きりで決定的な神への 献身をし、神にゆだね、従うことです。これは、救済ではありません。救済は、キリストの犠牲だけに基づいています。これは別のことです。これは、あなたによる犠牲です。日々のささげ物ではありません。あなたのいのちを無条件に、永遠に、生きた聖なる、神に受け入れられるささげ物として神に差し出すことです。神の栄光のため、そして神に自由にお使いいただくために、あなた自身を神に自発的にささげることです。

なぜ、このささげ物をするのか。それは、神のあわれみゆえに行うのです。ローマ人への手紙1章から11章には、神のあわれみが記されています。ローマ人への手紙12章1節では、神がそのあわれみゆえに、人がするよう望まれることが記されています。ローマ人への手紙12章2節は、救済の後、生涯にわたってすべきことを2つ勧めています。あなたを救い、あなたをきよめてくださる神の大いなるあわれみが、この最初の11章に述べられています。それゆえに、あなた自身を神にささげるのです。神は、地上での生涯においても、また永遠においても、あなたを祝福してください。しかし、あなたがささげ物をする正しい動機は、未来にはありません。それは、過去にあります。正しい動機は、神がすでになされたことに基づきます。イエスが釘跡のある御手をあなたに差し出ししながら、「わたしがあなたのためにこれだけのことをしたのだから、今度はわたしのためにこうしなさい」と言われるのを想像してみてください。これがローマ人への手紙12章1節の意味です。

なぜ一度きりの、決定的なささげ物なのか。ローマ人への手紙12章1~2節の言葉の意味がまさにそれだからです。12章2節にある「調子を合わせて」と「自分を変えて」の動詞は現在時制です。つまり、この2つのことを今行い、そして生涯を通じて行い続けなさい、という意味です。しかし、12章1節の「あなたがたのからだを…献げなさい」の動詞は、ギリシャ語では単純現在時制ではありません。ギリシャ語でこれは、一回限りの行為を意味します。何かをし続けることを意味しません。一度きりの決定的な行為をすることを意味します。それは、神にあなた自身を決定的にささげることなのです。神に、あなた自身をいけにえとしてささげるのです。ローマ人への手紙12章1節は、あなたによるささげ物についてです。また、あなた自身を神の祭壇に永遠にささげることについてです。

2つの例 申命記15章12~17節に、具体例がひとつ示されています。解放されたヘブル人の奴隷は、**自発的**かつ **永遠に** 再び主人の奴隷となることを選べました。その選択は、主人のこれまでの情け深い行為に基づいていました。その選択は、奴隷の主人への愛情に駆り立てられていました。それは、永遠でした。主人のしもべとして一生仕えることを示すために、奴隷の耳に穴を開けるのに錐が使われました。このように奴隷となることは、奴隷の選択でした。強制されたものではありません。それは、永遠の決断でした。もう一つの例は、古い契約における動物のいけにえにあります。動物は、祭壇にささげるために神に受け入れられるものでなければなりません。病気の動物や、傷や欠陥のある動物はいけにえとして受け入れられません（レビ記1章~5章）。このことは、ローマ人への手紙12章1節で「神に喜ばれる、聖なる」ささげ物という部分を明らかにします。いけにえとしてささげられた動物が死んでいるという事実は、そのいけにえが永続的であることを示しています。いけにえにされた動物は、祭壇が熱くなっても、そこから這って逃げることはありませんでした。祭司が一日の終わりに動物を持ち帰って、別の日に再びささげることはありませんでした。それは永遠のいけにえでした。ローマ人への手紙12章1節通りにささげ物をして、熱くなった祭壇から取り去るなら、それはローマ人への手紙12章1節のささげ物ではなかったのです。

あなたのささげ物を繰り返すローマ人への手紙12章1節のささげ物を、そもそも繰り返すべきなのでしょうか。はい。あなたのささげ物が受け入れられなかったなら、繰り返します。ローマ人への手紙12章1節のささげ物は、神に喜ばれる、聖なる生きたものである必要があります。あなたが生きているのは、イエス・キリストを信じたとき、「死からいのちに移って」（ヨハネによる福音書5章24節）いるからです。聖なるささげ物になることは、あなたの責任です。旧約聖書では、動物はいけにえとして受け入れられなければなりませんでした。どんな動物も完璧ではありません。それでも、動物は、病気がなく、健康で、傷や欠陥があつてはなりません。それは、ローマ人への手紙12章1節のささげ物について二つのことを示しています。第一に、あなたのささげ物は病がないものでなければなりません。罪と神から離れている病は、救いによって癒されなければなりません。そのため、ローマ人への手紙12章1節は、信者にのみ向けて書かれています（これは同節の「兄弟たち」ということばが示しています。）信者でない者のささげ物は受け入れられません。それは、救済の前ではなく後に献げられなければならないからです。イエスのもとに来て初めて、イエスに従うことができるのです。確実に救われるためには、www.Gospel316.org を訪れてください。「聖なる」部分が、信者の生活における霊的清浄さの受け入れられるレベルを示しています。そうやって初めて、あなたのローマ人への手紙12章1節のささげ物は神に受け入れられるのです。「ですから、だれでもこれらのことから離れて自分自身をきよめるなら、その人は尊いことに用いられる器となります。すなわち、聖なるものとされ、主人にとって役に立つもの、あらゆる良い働きに備えられたものとなるのです。」（テモテへの手紙2章21節）あなたは完全ではありません。しかし、あなたは適切なレベルの霊的な健康と聖さをもって自分自身を神にささげることができます。あなたの聖なる生きたささげ物が神に受け入れられたなら、あなたはもう二度とささげ物をする必要はありません。しかし、あなたのささげ物が、一時的なものであったり、聖くなかったりという理由で、神に受け入れられなかったなら、ささげ物を繰り返さなければなりません。永遠の、聖なる生きたささげ物としてあなた自身を神にささげなさい。自ら進んで、永遠に、神の奴隷になりなさい。これを軽々しくしてはなりません。それは、救われた後に下す、とても重い決断なのです。あなたのささげ物が受け入れられたなら、ローマ人への手紙12章2節にある、この世と調子を合わせず、自分を変える生活にイエス・キリストに真に従う人として移行しなさい。主があなたのためになされたことを思い、次は、主のために行うのです。

ささげ物の後の生活「この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきたい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」（ローマ人への手紙12章2節）この節は、ローマ人への手紙12章1節のささげ物をした後の生活の仕方を勧めています。これらの勧めは現在時制で書かれており、この世と調子を合わせないことを続け、自分の心を絶えず新たにすることで、変えられ続ける生き方を意味しています。この世の罪深い習いに同調、黙従しないでください。この世に、信者としてのあなたを形作らせてはなりません。ローマ人への手紙12章2節は、「心を新たにすることで、自分を変えていただく」ことを勧めています。変えていただく と翻訳されているギリシャ語は、マタイの福音書17章2節とマルコの福音書9章2節で、イエスの「御姿が変わった」と述べるのに使われているのと同じ言葉です。ローマ人への手紙12章2節は、心を新たにする（一新、より良きものへの完全な変化）ことで、姿が変えられるようにとの勧めです。そのような（芋虫が蝶になるよりも驚くべき）変容は、あなたが神のことばを学び、それに従って生きるにつれて成し遂げられるのです。ローマ人への手紙12章1節のささげ物をしましょう。世の中の型に押し込められてはなりません。神のことばを学び、それに従って生き、変えられなさい。そのとき、あなたは神のみこころを見分け、それに従って生きることができます。

「そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」ローマ人への手紙12章2節

John D. Morris III 著『生きたささげ物』（原題 A Living Sacrifice）© 2026は Acts One Eight から発表されています。本資料を自由に印刷、コピー、投稿、メール送付、またはメッセージングしても構いません。ただし、内容を一切変えず、本記述をすべて載せてください。1 ページの最上部にあなたのミニストリーまたは教会の名前やロゴを、2 ページ目の最下部近くの実線の上にあなたの連絡先情報を追加しても構いません。Sacrifice316 は、聖書のみを根拠としています。その目的は、人々がイエス・キリストを信じるだけの段階を超えて、霊的に成長するのを助けることです。Acts One Eight への連絡は（可能なら英語で）メールで Hello@Mail316.org をお願いします。翻訳は、www.ChristianLingua.com によります。『生きたささげ物』は、www.Sacrifice316.org から、48の言語で、無料で入手できます。英語訳聖書の引用は、The Lockman Foundation (New American Standard Bible 1995) からのものです。日本語訳聖書の引用は、『聖書 新改訳2017』（いのちのことば社）が典拠です。